



小平市立小平第三中学校

小平三中だより

令和4年度 第8号

発行日

令和4年12月1日

未来とは今である！

校長 田村 孝夫

2学期も終わりが近づいてきました。地域・保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に御協力いただき、ありがとうございます。また、来年もよろしくお願いたします。

今年も昨年同様に新型コロナウイルスの影響を受けた年でしたが、運動会、修学旅行、音楽祭等の行事を実施することができました。3学期は、1・2年生のスキー教室、3年生の入試関係や卒業式があります。このままの状態が学校生活を送れることを願っています。

さて、12月になり、3年生にとって最後の面談が始まり、いよいよ進路選択の時期を迎えます。義務教育を終え、自分の進む道を自分の手で選択することは決して容易なことではありません。悩み迷う中で、自分の存在がひどく小さく感じたり、自信をなくしたりすることもあるでしょう。

しかし、苦しいのは自分だけではありません。受験は個人戦でなく、団体戦なのです。試験を受けると

きはもちろん一人ですが、そこに至るまでの過程で、友達と励まし合い、切磋琢磨しながらお互いを高め合えるよい集団でいてほしいです。素晴らしい運動会、音楽祭をつくり上げてきた皆さんにはきっとそれができるはずですよ。1・2年生の皆さんにとってもそれは同じことが言えます。「目標がその日その日を支配する」自分が今日すべきことを明確にしましょう。小さな目標を一つ一つこなした先に、自分のめざした未来は必ず広がるはずですよ。

これから年末になると、来年は「勉強をがんばろう！」「こんなことに挑戦してみよう！」と考えることが多くなります。しかし、時が経つにつれ、いつの間にか決意が薄れてしまいます。江戸時代の優れた学者であった、林羅山（はやしらざん）は、「即除日起講」という言葉を残しています。これは、大みそかに林羅山を訪ねた弟子が、「ぜひ来年から、学問を教えてください。」と頼みました。羅山は、「本当に学びたい気持ちがあるのなら、なぜ来年から始めるのか。今日、今からはじめよう。」と、大みそかのその日から学問の講義を始めたという話です。日々の生活の中で、やろうと決意したことを、すぐに始められる強い気持ちをもつことが大切です。決めたらすぐに始めて、継続して最後まで続ける精神力を御家庭でも育てていただくようお願いいたします。

（即ち除日に講を起す）
すなわ
みそか
こう
お

即除日起講

生徒の活躍（敬称略）

- 税の作文コンクール：東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会 会長賞
東京税理士会東村山支部 支部長賞
公益社団法人東村山法人会 会長賞
- 税の標語コンクール：東村山間税会 会長賞
税理士会支部長賞

◎ 11月 | 2月の主な学校行事の様子

全学年対抗ドッジボール大会（体育委員会担当）

11月22日からドッジボール大会が始まりました。学年の枠を超えて全校で行うイベントに昼休みの体育館は熱気にあふれています。運営している体育委員は昨年度の反省を生かして、さらに楽しいイベントにしようと、2年生を中心に企画し、運営しています。

また、参加する生徒は感染症拡大防止のために、体育館入り口でのアルコール消毒やマスク着用での競技、観戦、応援など、安心安全に試合ができるように、生徒ひとりひとりが協力しています。

8組の生徒もそれぞれのクラスに入り試合に参加したり、スペシャルゲストで校長先生が試合に参加してくださったりしながら、学年クラス関係なく学校全体で楽しみ、応援し合っています。

毎試合、白熱した試合が繰り広げられ、選手も審判も応援も熱が入ります。「参加するひと」「応援するひと」「支える（運営する）ひと」がそれぞれの力を合わせ、大いに盛り上がる大会になることを期待しています！

（体育委員会委員長）

現在、体育委員会では、全学年対抗ドッジボール大会を実施しています。他学年と関わる機会があまりない中、「学年を超えたスポーツ交流を通じて、全校生徒の連帯感を高める」を目標とし、学校全体の仲を深めることができるようなイベント案を考えてきました。

体育委員が協力し合い、計画、準備、イベントの実施をし、みんなが楽しめるような大会を開催することができています。

コロナ禍で制限された中、大変ではありますが、まだまだ大会は続くので、クラスの優勝を目指して頑張りましょう！



試合開始



白熱する試合



多くのギャラリー